



## 2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月10日

上場会社名 株式会社プログリット 上場取引所 東  
コード番号 9560 URL <http://www.progrit.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡田 祥吾  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO 管理部長 (氏名) 谷内 亮太 E-mail [ir@progrit.co.jp](mailto:ir@progrit.co.jp)  
四半期報告書提出予定日 2024年7月10日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・個人投資家向けライブ配信及び当社サイト動画掲載）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年8月期第3四半期の業績（2023年9月1日～2024年5月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	3,179	49.2	744	69.8	735	69.6	537	81.4
2023年8月期第3四半期	2,130	29.4	438	84.3	433	83.6	296	83.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	44.25	42.20
2023年8月期第3四半期	25.97	23.85

- (注) 1. 当社は、2023年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2023年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株あたり四半期純利益を算定しております。
2. 当社は、2022年9月29日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2023年8月第3四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	3,412	1,715	50.1
2023年8月期	2,628	1,092	41.5

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 1,710百万円 2023年8月期 1,091百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年8月期	-	0.00	-	-	-
2024年8月期（予想）	-	-	-	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当 予想からの修正の有無：有

### 3. 2024年8月期の業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,250	40.6	750	50.9	740	50.1	540	49.7	44.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年8月期3Q	12,447,480株	2023年8月期	11,907,492株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	368株	2023年8月期	329株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年8月期3Q	12,150,579株	2023年8月期3Q	11,411,626株

(注) 当社は、2023年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2023年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手し得る情報と合理的であると判断する一定の条件によって作成しているため、数値記述内容の達成を確約するものではありません。また、実績は種々の要因にて変動することがあります。業績等の予想に関する注意事項等については添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手について)

当社は、2024年7月10日(水)に第3四半期オンライン決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明会資料は、速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文章中の将来に関する事項は、当第3四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限は徐々に緩和され景気回復の兆しが見えてきた一方で、不安定な世界情勢や為替変動及び原材料価格やエネルギー価格の高騰等の影響により、先行き不透明な状況が続いております。

しかし英語学習市場につきましては、高齢化への懸念を持つ企業の海外市場への進出、グローバル人材の確保といった中長期的視点での英語学習への意欲は依然として高く、より高い成果を求めて従来型の英会話サービスから英語コーチングサービスへの乗り換えの動きも散見されるようになりました。このような動きに対応する形で、従来型の英会話サービス提供会社が英語コーチングサービスを展開する等、着実に英語コーチング市場が拡大しているものと見ております。また、個人での英語学習だけでなく、従業員育成・福利厚生の一環として英語学習の導入を検討する企業のニーズも存在することから、中長期的に英語学習市場全体が堅調に推移していくものと考えております。

このような環境の中、当社におきましては、英語コーチングサービス「プログリット」において、集中学習によって飛躍的に英語力を向上させるために、①顧客ごとにカスタマイズしたカリキュラムの設計、②英語学習を継続させる習慣を身につけるためのコンサルタントによるサポート、という主に2つの特徴において、継続的な品質向上と改善に取り組んでおります。また、シャドーイングに特化したサブスクリプション型の英語学習サービスである「シャドテン」は引き続き学習コンテンツの拡充やアプリの顧客体験改善等を行うことにより、有料課金ユーザー数は堅調に推移しております。さらに、当社は2023年12月19日にスピーキングに特化した新サービスである「スピフル」をローンチいたしました。スピフルは、スピーキング力を上げるために必要なトレーニングの口頭英作文（注1）と実践の独り言英会話（注2）の双方を実施することに加え、AI添削による「振り返り」を行うことで、スピーキング力を向上させるサブスクサービスです。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,179,313千円（前年同四半期比49.2%増）、営業利益は744,636千円（前年同四半期比69.8%増）、経常利益は735,529千円（前年同四半期比69.6%増）、四半期純利益は537,630千円（前年同四半期比81.4%増）となりました。

なお、当社は英語コーチング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(注) 1. 口頭英作文：日本語の文章を瞬時に英語に変換し、発話するトレーニングです。

2. 独り言英会話：自身で選んだお題について1分間英語でスピーチを行うトレーニングです。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は3,412,637千円となり、前事業年度末に比べ784,415千円増加しました。これは主に、現金及び預金が684,721千円、敷金が23,117千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,696,765千円となり、前事業年度末に比べ161,470千円増加しました。これは主に、契約負債が181,858千円、未払費用が26,579千円、預り金が23,173千円増加し、賞与引当金が60,118千円、未払法人税等が32,747千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,715,871千円となり、前事業年度末に比べ622,944千円増加しました。これは主に資本金、資本剰余金が40,420千円それぞれ増加し、利益剰余金が537,630千円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月10日に発表しました通期の業績予想につきましては、現時点にて変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,975,644	2,660,365
売掛金	58,520	66,816
商品	11,707	12,830
貯蔵品	3,149	3,376
前払費用	69,957	58,896
その他	13,144	62,861
流動資産合計	2,132,123	2,865,146
固定資産		
有形固定資産		
建物	180,878	180,878
減価償却累計額	△50,000	△59,485
建物（純額）	130,878	121,392
工具、器具及び備品	17,664	19,839
減価償却累計額	△11,100	△12,870
工具、器具及び備品（純額）	6,564	6,968
建設仮勘定	-	34,770
有形固定資産合計	137,442	163,131
投資その他の資産		
投資有価証券	7,834	11,541
出資金	20	20
長期前払費用	1,647	526
繰延税金資産	122,307	122,307
敷金	226,046	249,164
その他	800	800
投資その他の資産合計	358,656	384,359
固定資産合計	496,098	547,490
資産合計	2,628,221	3,412,637

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,520	23,158
1年内返済予定の長期借入金	71,826	62,660
未払金	208,975	202,480
未払費用	85,502	112,082
未払法人税等	148,470	115,722
契約負債	695,512	877,371
預り金	21,028	44,202
賞与引当金	119,059	58,941
役員賞与引当金	-	9,046
その他	65,561	79,588
流動負債合計	1,434,458	1,585,254
固定負債		
長期借入金	94,450	105,125
資産除去債務	6,386	6,386
固定負債合計	100,836	111,511
負債合計	1,535,294	1,696,765
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	280,101	320,522
資本剰余金		
資本準備金	277,101	317,522
資本剰余金合計	277,101	317,522
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	535,105	1,072,736
利益剰余金合計	535,105	1,072,736
自己株式	△349	△401
株主資本合計	1,091,959	1,710,378
新株予約権	967	5,493
純資産合計	1,092,927	1,715,871
負債純資産合計	2,628,221	3,412,637

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	2,130,247	3,179,313
売上原価	617,007	867,992
売上総利益	1,513,239	2,311,320
販売費及び一般管理費	1,074,602	1,566,683
営業利益	438,636	744,636
営業外収益		
ポイント還元収入	1,419	917
利子補給金	685	524
印税収入	455	311
助成金収入	-	330
その他	147	225
営業外収益合計	2,707	2,309
営業外費用		
寄付金	-	10,000
支払利息	1,790	1,123
その他	5,885	293
営業外費用合計	7,676	11,416
経常利益	433,667	735,529
特別利益		
新株予約権戻入益	0	141
特別利益合計	0	141
税引前四半期純利益	433,667	735,671
法人税、住民税及び事業税	137,275	198,040
法人税等合計	137,275	198,040
四半期純利益	296,391	537,630

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社は、英語コーチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。